

専門基礎分野・解剖生理学 授業計画

授業科目及び時間数	生活を支えるからだ 1単位 30時間		
開講時期	1年時前期		
担当教員	勝治乃武子 白鳥智美 山田美季 芝口由美子	実務経験	有
<p><科目のねらい> 日々の生活を支えるケアをするため、医学の枠組みでの「からだ」理解をベースに、生活行動の枠組みからの体を理解する。看護を学ぶにあたり、人間はどのような体の構造と機能（仕組み）を使って生きているのか、日常生活行動を営んでいるのか、さらにはからだの仕組みが障害され時、それが生きていることや日常生活行動にどう影響するのかを考えることで看護を必要としている対象に看護実践できる基本的知識となる。</p> <p><到達目標> ・学んだ解剖・生理学の知識を活かし看護学の視点でからだをみることができる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 何のための生活行動か (1)生きているとはどういうことか (2)生命維持と生活行動	看護教員	
2回目	1. 恒常性維持のための物質の流通 2. 恒常性のための調節機構	看護教員	
3回目	1. 動く	看護教員	
4回目	1. 動く	看護教員	
5回目	1. 眠る	看護教員	
6回目	1. 眠る	看護教員	
7回目	1. 息をする	看護教員	
8回目	1. 話す・聞く	看護教員	
9回目	1. 食べる	看護教員	
10回目	1. 食べる	看護教員	
11回目	1. トイレに行く	看護教員	
12回目	1. トイレに行く	看護教員	
13回目	1. お風呂に入る	看護教員	
14回目	1. お風呂に入る	看護教員	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 課題		
受講生に対するメッセージ	既習の形態機能学の知識を活かし人間が日常生活を営んでいるのかを考えます。事象への関心を深め幅広く学問を探究する姿勢をもって臨んでほしい。		
テキスト	「看護 形態機能学 生活行動からみるからだ」菱沼典子 日本看護協会出版会 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院		
参考書			